



真室川小学校環境委員会の児童のみなさんからいただいた質問・報告と、鮭川出張所からの回答をご紹介します。

## ほうこく 報告

あめ すく ひ つづ かわ みず  
雨の少ない日が続いているせいか、川の水が  
すく すいおん たか おも  
少ないです。水温は高いように思います。

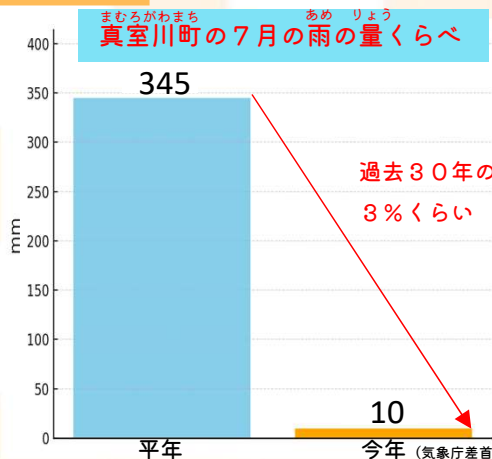
(真室川小7月の報告)



湧水(かつすい)になると、  
どんな影響(えいきょう)があるのだろう？

## かいとう 回答

いこう あめ すく かわ  
6月以降、雨が少なかったため、川  
みず へ かつすい  
の水が減る「湧水」がおきました。  
みず すく たいよう ひかり  
水が少ないと太陽の光であたたまりや  
すいおん たか  
すくなり、水温も高くなります。



かわ みず すく すいどう  
川の水が少なくなると、水道  
みず つくりょう へ た  
の水を作る量が減ったり、田ん  
はたけ つか みず た  
ぼや畑に使う水が足りなくなる  
ことがあります。

みず わたし せいかつ たい  
水は私たちの生活にとっても大  
せつ かつすい みず  
切なので、湧水のときは水をむ  
だづかいしないように気をつけ  
ましょう。



## ほうこく 報告

さいきん あゆつ ひと み あゆ せいちょう  
最近、鮎釣りをしている人を見かけました。鮎はどうやって成長するのかな  
おも  
とと思いました。(真室川小8月の報告)

## かいとう 回答

あゆ いっしょう おく さかな かわ うみ い き せいちょう  
鮎は、とってもおもしろい一生を送る魚です。川と海を行き来しながら成長します。

①卵(たまご)



あき かわ  
秋(10月～11月ごろ)に川  
かりゅう たまご う  
の下流で卵を産みます。  
たまご すな こいし あいだ う  
卵は砂や小石の間に産ま  
すうにち ふか  
れ、数日で孵化します。

②稚魚(ちぎょ)



う 生まれたばかりの鮎  
からだ ちい かわ  
は体が小さく、川の  
なが うみ  
流れにのって海へ  
くだ  
下っていきます。

③海(うみ)で成長(せいちょう)



ふゆ うみ  
冬のあいだ、海でプランク  
た おお せい  
トンなどを食べて大きく成  
ちよう たいちよう  
長します。(体長は5～  
10cmくらいになります)

④春(はる)に川へ戻(もど)る



はる かわ  
春になると、川をさかのぼって生まれた川  
かわ  
にもどってきます。川ではコケなどを食べ  
て、さらに成長します。このころ、みんな  
み わかあゆ すがた  
がよく見る「若鮎」の姿になります。

⑤生魚(せいぎょ)～  
産卵(さんらん)



あき せいぎょ  
秋になると成魚になり、  
かりゅう くだ さんらん  
また下流へ下って産卵  
します。そして、命を  
いのち  
つないでいきます

かむろしょうねんしぜん いえ こまたがわ あそ かねやまがわ ごうりゅう  
神室少年自然の家では、小又川で遊びました。金山川とどこかで合流するのかな  
おも  
と思いました。(真室川小9月の報告)



こまたがわ  
小又川って??

こまたがわ なが やく かわ まむろがわまち なが  
小又川は、長さが約11.3キロメートルの川です。真室川町を流れていま  
かわ あきたけん さかい やま ありさわさんち なが さいご おおさわ  
す。川は、秋田県との境にある山(有沢山地)から流れ出して、最後に大沢の  
のざきちく さげがわ おお かわ ごうりゅう  
野崎地区で鮭川という大きな川に合流します。

かいとう  
回答



かねやまがわ  
①金山川  
かねやままち なが  
金山町のほうから流れてきて、  
まむろがわ ごうりゅう  
真室川に合流します。

まむろがわ  
②真室川  
まむろがわまち ま なか なが かわ  
真室川町の真ん中を流れる川で、  
さげがわ ごうりゅう  
鮭川に合流します。

さげがわ  
③鮭川  
かりゅう なが  
さらに下流のほうを流れていき、  
さいご もがみがわ ごうりゅう  
最後に最上川に合流します。



かわ なが  
つまり川の流は、  
かねやまがわ まむろがわ さげがわ もがみがわ  
金山川→真室川→鮭川→最上川

かわ うえ した おお  
川は上から下へ、つながりながら大き  
くなくなっていきます。だから、上流(う  
えのほう)の川をきれいにまもること  
は、下流(したのほう)の町や川をま  
もることにもつながるんだね💡

